

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 29 日作成)

委員会名	事業企画小委員会	主 査 名：遠藤龍司
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会	委員長名：登坂宣好
設 置 期 間	2000 年 4 月 ～ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	都市機能補完型海洋建築物」に関する海洋研究推進運営委員会での成果等の公表の機会を、海洋企画運営委員会主導のもとに企画・立案する。	
委員構成 (委員名 (所属))	遠藤龍司 (職開発総合大)、近藤典夫 (日大理工)、野口憲一 (大成建設) 桜井慎一 (日大理工) 川上善嗣 (職開発総合大)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	10,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	各委員会の前後等も含め、必要に応じて不定期に開催している。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本小委員会の活動の性格上、会合による活動は非効率的である。本年度は、研究協議会資料をとりまとめるとともに、研究推進運営委員会傘下の小委員会が3年間にわたって行ってきた研究成果としての「都市機能補完型海洋建築」の調査研究報告(中間報告)をとりまとめた。反省として、ページの記入が時間の関係上困難であったことがあげられる。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 海洋委員会ではすでに、「海洋建築と空間利用シンポジウム」を開催しており、今後も継続することが決定している。また、日本建築学会大会における海洋部門研究協議会も含め、各小委員会の研究成果をシンポジウム、セミナー等により、海洋建築の概念を提案するよう積極的に要請する立場から後方支援を行った。
その他評価すべき事項	来年度以降に中間報告の正式な出版を予定しており、設置がすでに承認されている都市機能補完型海洋建築編集 WG に積極的に協力していく所存である。なお、海洋建築と空間利用シンポジウムの企画のとりまとめは運営委員会で行った。